

令和8年度 学校評価計画表

奈良育英中学校・高等学校

教育目標		1. 人権尊重の精神を基調として、規律と責任を重んじ、喜びや悲しみを共有できる生徒を育成 2. 自主・自立的な姿勢や態度を研ぎ、高い志を持って個別最適な学びを目指し、全てのことに全力を尽くす生徒を育成 3. 文化・スポーツ活動に積極的に参加し、組織の一員であることを自覚するとともに、自己の可能性を最大限に発揮する実行力のある生徒を育成 4. ESD(持続可能な開発のための教育)を推進するとともに、地域と協働し、「地域と共にある学校づくり」を目指し、社会に貢献できる生徒を育成 5. 英語教育に力を注ぎ、英語検定で合格を勝ち取り、またその結果により、生徒に「自信」を呼び起こす教育を実践				
				学校自己評価（4段階評価） A：達成度が高い B：概ね達成している C：課題を残している D：速やかな改善が必要である		
部	評価項目	具体的目標・具体的方策・評価指標	自己評価結果		成果と課題 （評価結果の分析）	改善方策等
教務部	ICTを積極的に活用した授業改革と教務関連業務の効率化とミスの削減	教務規定の周知徹底				
		成績処理業務の厳格化と相互支援体制の確立				
		授業評価アンケートと連動した「学びの質」の向上				
		時間割編成業務のデジタル移行による正確性向上と負担軽減の実現				
		教科書事務の技術承継と効率的な業務分担				
		新学習指導要領に基づく教育課程の検証と改善				
生徒指導部	生徒が学校を愛することができ、他者からも愛される学校を実現する生徒指導体制の構築	いじめ防止・早期発見への取り組みと発覚時の適切かつ迅速な対応				
		防災・防犯・交通安全等の「命の教育」の充実				
		基本的な生活習慣の確立とモラル・規範意識の向上				
		校内美化の意識の向上と通常清掃の習慣化				
		迅速な教員間の情報共有と連携がでる教育相談体制の構築				
		現行の校則・規定等の明確化と現行の校則・規定等の点検及び改定				
進路指導部	生徒一人一人への個別最適で能動的な指導による希望進路の実現	能動的な進路指導、情報の収集・共有・分析の徹底				
		志望分野の円滑な選定、ポートフォリオの活用、体験学習・活動の充実				
		確かな学力の定着と大学受験研究の充実				
		保護者・校外関係者への定期的な情報発信の充実（ホームページやBLEND）				
教育推進部	「利他の心」と「愛校心教育」を意識した計画や運営	保健指導の充実、保健室との連携、情報共有 安心安全の体育行事の企画・運営				
		生徒の自主的な部活動指導				
		充実した式典の企画・運営				
		自校愛を育てる刊行物の作成・発行				
		多文化理解につながる、国際交流事業の企画・運営				
		豊かな心をはぐくむ文化活動の企画・運営				
入試広報部	奈良育英ブランドイメージの向上と安定した入学生の確保	奈良育英ブランドイメージの向上（特色ある教育活動や生徒の活躍を発信、在校生とその保護者の満足度向上、各種入試広報行事の充実）				
		定員充足（高校各コース、中学）				
		広報活動の促進（非対面広報活動の充実、生徒主体で学校の魅力を発信できる体制作りの推進）				